| 学校番号 | T1208 |
|---|---|

# 平成31年度　　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 科学と人間生活 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂　科学と人間生活（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然と人間生活との関連および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、生命の科学、物質の科学、光や熱の科学、宇宙や地球の科学、4つの視点から見るとどのように見えてくるのかを学び考えてください。

また、日常生活と関連付けて、身近な自然の事物・現象についての理解を深め、基礎学力の向上に努めてください。

## ２ 学習の到達目標

日常生活と関連づけて自然と人間生活との関連および科学技術が人間生活に果たしてきた役割への関心を高め、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養い、基礎学力の充実をはかる。

## ３ 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:観察・実験の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自然と人間生活との関連および科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。 | 自然と人間生活との関連および科学技術が人間生活に果たしてきた役割にの中に問題を見いだし、学習する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 | 自然と人間生活との関連および科学技術が人間生活に果たしてきた役割にに関する観察、実験などの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に見る技能を身に付けている。 | 自然と人間生活との関連および科学技術が人間生活に果たしてきた役割にについて、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 出席状況<br>学習状況の観察<br>プリントの記述<br>探究活動の記録、発表 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>探究活動の記録、発表<br>定期考査の結果 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>探究活動の記録、発表<br>定期考査の結果 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>探究活動の記録、発表<br>定期考査の結果 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 生命の科学 | 生物と光 | ○ | | | ○ | a:植物の生育と光のかかわりについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。<br>b:微生物と人間の健康・医療とのかかわりについて考察し、考えを表現している。<br>c:身近な微生物の観察、土壌微生物の分解の観察などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。<br>d:植物の光合成と呼吸のしくみや光のはたらきについて理解し、知識を身に付けている。 | 出席状況<br>学習状況<br>プリント<br>定期考査 |
| | | 微生物とその利用 | | ○ | ○ | | | |
| | 物質の化学 | 材料とその再利用 | ○ | | ○ | | a:日常生活と関係の深い金属やプラスチックについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。<br>b:ご飯、肉類、油脂などの主成分に含まれる栄養や、体内での消化・吸収について考察し、考えを表現している。<br>c:金属の性質を調べる実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。<br>d:炭水化物、タンパク質、油脂の構造や性質、消化、検出法について理解し、知識を身に付けている。 | 出席状況<br>学習状況<br>プリント<br>定期考査 |
| | | 衣料と食品 | | ○ | | ○ | | |
| | 光や熱の科学 | 光の性質とその利用 | | ○ | ○ | | a:熱と温度の関係について関心をもち、意欲的に探究しようとする。<br>b:光の進み方と屈折、反射などによるものの見え方について考察し、考えを表現している。<br>c:光のスペクトルの観察などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。<br>d:熱エネルギーと力学的エネルギーなどとのエネルギー変換、エネルギーの有効利用などを理解し、知識を身に付けている。 | 出席状況<br>学習状況<br>プリント<br>定期考査 |
| | | 熱の性質とその利用 | ○ | | | ○ | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 宇宙や地球の科学 | 身近な天体と太陽系における地球 | ○ | | ○ | | a:身近な天体と人間生活とのかかわりについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。<br>b:地震、津波、火山噴火、気象による災害などがもたらす被害とその原因、それらから身を守る対策について考察し、考えを表現している。<br>c:恒星の観察などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。<br>d:地震、津波、火山噴火、気象による災害などが発生するしくみとその被害を最小限に抑える対策などを理解し、知識を身に付けている。 | 出席状況<br>学習状況<br>プリント<br>定期考査 |
| | | 身近な自然景観と自然災害 | | ○ | | ○ | | |

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：観察・実験の技能　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。